

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2021-75570(P2021-75570A)

【公開日】令和3年5月20日(2021.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2021-023

【出願番号】特願2021-22476(P2021-22476)

【国際特許分類】

C 0 7 H 17/08 (2006.01)

A 6 1 K 31/7048 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 H 17/08 C S P K

A 6 1 K 31/7048

A 6 1 P 31/10

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月10日(2021.6.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

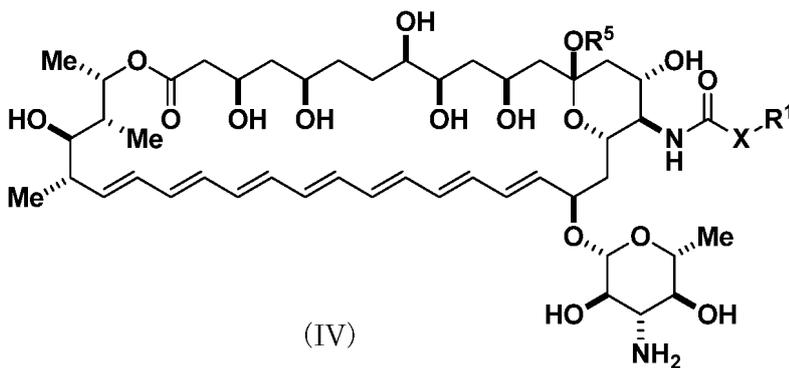
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(IV)

【化1】



[式中、各出現ごとに独立して、

Xは、-N(R<sup>2</sup>)-、-C(R<sup>3</sup>)(R<sup>3</sup>)-、または-O-であり、

R<sup>2</sup>は、水素であるか、または置換もしくは非置換の、アルキル、シクロアルキル、(シクロアルキル)アルキル、ヘテロシクリル、(ヘテロシクリル)アルキル、アリール、ヘテロアリール、アラルキル、ヘテロアラルキル、アシル、アミノ、アミド、アミノアルキル、およびアルコキシルからなる群より選択される基であり、

R<sup>3</sup>は、水素、ハロゲン、ヒドロキシル、スルフヒドリル、ニトロ、シアノであるか、または置換もしくは非置換の、アルキル、シクロアルキル、(シクロアルキル)アルキル、ヘテロシクリル、(ヘテロシクリル)アルキル、アリール、ヘテロアリール、アラルキル、ヘテロアラルキル、カルボキシル、アシル、アシルオキシ、アミノ、アミド、アジド、アミノアルキル、およびアルコキシルからなる群より選択される基であり、

R<sup>5</sup>は、水素、アルキル、およびハロアルキルからなる群より選択され、

Xが - N ( R <sup>2</sup> ) - の場合、R <sup>1</sup> は、置換もしくは非置換の、アルキル、シクロアルキル、(シクロアルキル)アルキル、ヘテロシクリル、(ヘテロシクリル)アルキル、アリール、ヘテロアリール、アラルキル、ヘテロアラルキル、アシル、アミノ、アミド、アミノアルキル、およびアルコキシルからなる群より選択される基であるか、または R <sup>1</sup> と R <sup>2</sup> は、それらが結合している窒素と一緒に置換もしくは非置換の 3 ~ 10 員の複素環を形成してよく、ここで、前記環は単環式、二環式、三環式、またはスピロ環式であり、

Xが - C ( R <sup>3</sup> ) ( R <sup>3</sup> ) - の場合、R <sup>1</sup> は、水素、ハロゲン、ヒドロキシル、スルフヒドリル、ニトロ、シアノであるか、または置換もしくは非置換の、アルキル、シクロアルキル、(シクロアルキル)アルキル、ヘテロシクリル、(ヘテロシクリル)アルキル、アリール、ヘテロアリール、アラルキル、ヘテロアラルキル、カルボキシル、アシル、アシルオキシ、アミノ、アミド、アジド、アミノアルキル、およびアルコキシルからなる群より選択される基であるか、または 2 つの R <sup>3</sup> は、それらが結合している炭素と一緒に置換もしくは非置換の 3 ~ 10 員の脂環もしくは複素環を形成してよく、ここで、前記環は単環式、二環式、三環式、またはスピロ環式であり、かつ

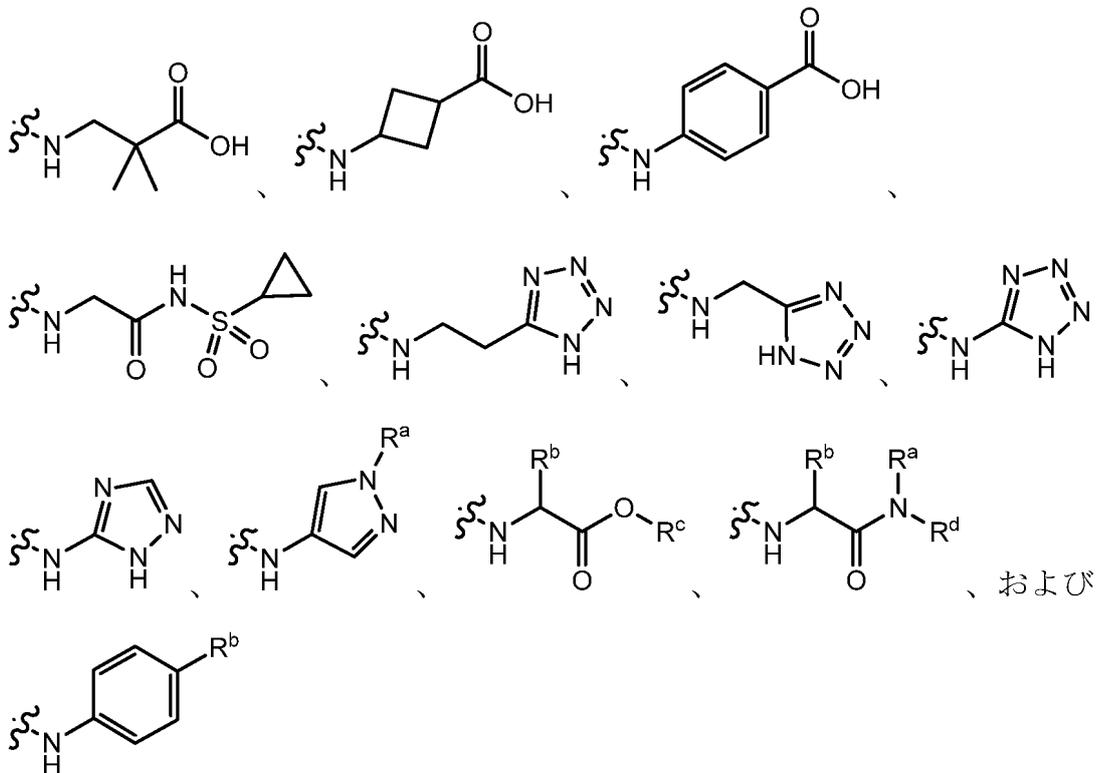
Xが - O - の場合、R <sup>1</sup> は、置換もしくは非置換の、アルキル、アルケニル、シクロアルキル、(シクロアルキル)アルキル、ヘテロシクリル、(ヘテロシクリル)アルキル、アリール、ヘテロアリール、アラルキル、ヘテロアラルキル、アシル、アミノ、アミド、およびアミノアルキルからなる群より選択される基である。]

で表される化合物またはその薬学的に許容される塩。

【請求項 2】

前記 - X R <sup>1</sup> は、

【化 2】



[ 式中、各出現ごとに独立して、

R <sup>a</sup> は、水素であるか、または置換もしくは非置換の、アルキル、シクロアルキル、(シクロアルキル)アルキル、ヘテロシクリル、(ヘテロシクリル)アルキル、アリール、ヘテロアリール、アラルキル、ヘテロアラルキル、アシル、アミノ、アミド、アミノアルキル、およびアルコキシルからなる群より選択される基であり、

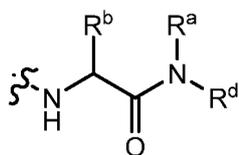
R <sup>b</sup> は、水素、ハロゲン、ヒドロキシル、スルフヒドリル、ニトロ、シアノであるか、または置換もしくは非置換の、アルキル、シクロアルキル、(シクロアルキル)アルキル

、ヘテロシクリル、(ヘテロシクリル)アルキル、アリール、ヘテロアリール、アラルキル、ヘテロアラルキル、カルボキシル、アシル、アシルオキシ、アミノ、アミド、アジド、アミノアルキル、およびアルコキシルからなる群より選択される基であり、

R<sup>c</sup> は、水素であるか、または置換もしくは非置換の、アルキル、シクロアルキル、(シクロアルキル)アルキル、ヘテロシクリル、(ヘテロシクリル)アルキル、アリール、ヘテロアリール、アラルキル、ヘテロアラルキル、アシル、アミノ、アミド、およびアミノアルキルからなる群より選択される基であり、かつ

R<sup>d</sup> は、水素であるか、または置換もしくは非置換の、アルキル、シクロアルキル、(シクロアルキル)アルキル、ヘテロシクリル、(ヘテロシクリル)アルキル、アリール、ヘテロアリール、アラルキル、ヘテロアラルキル、アシル、アミノ、アミド、アミノアルキル、およびアルコキシルからなる群より選択される基であるか、または -X R<sup>1</sup> が、

【化3】



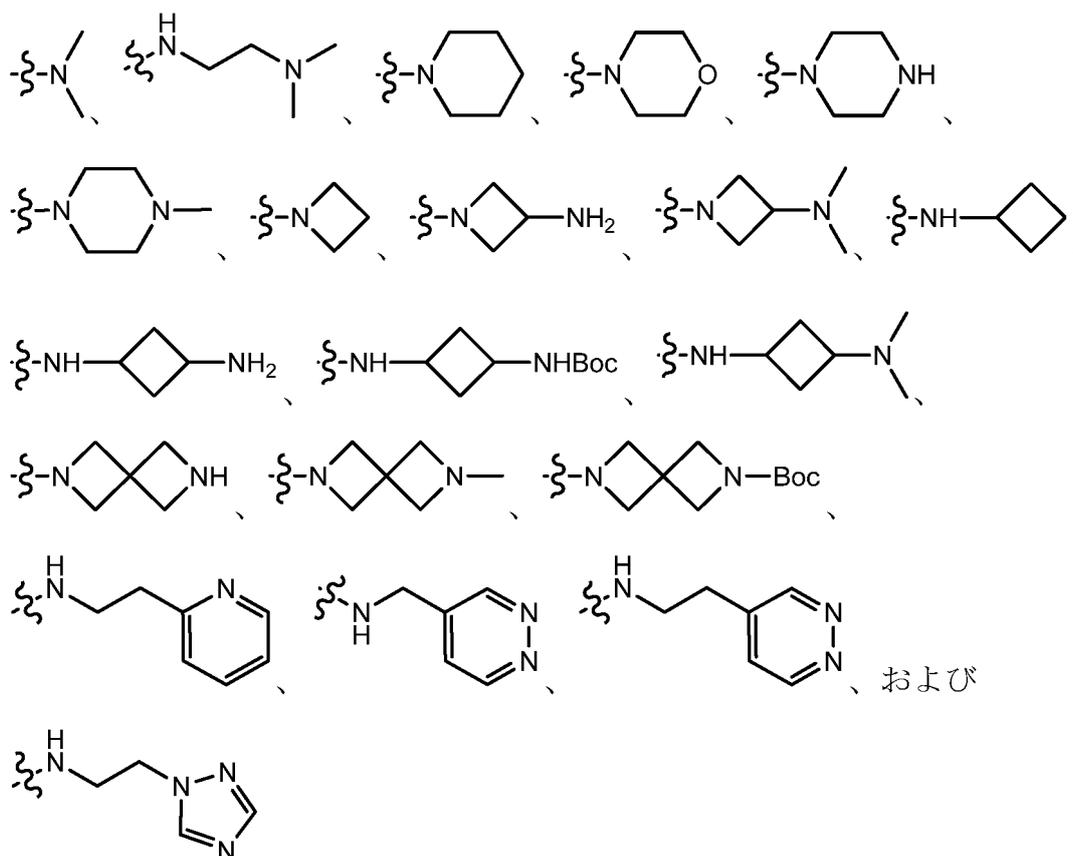
の場合、R<sup>a</sup>とR<sup>d</sup>は、それらが結合している窒素と一緒に置換もしくは非置換の3～10員の複素環を形成してよく、ここで、前記環は単環式、二環式、三環式、またはスピロ環式である。]

からなる群より選択される、請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

前記 -X R<sup>1</sup> は、

【化4】

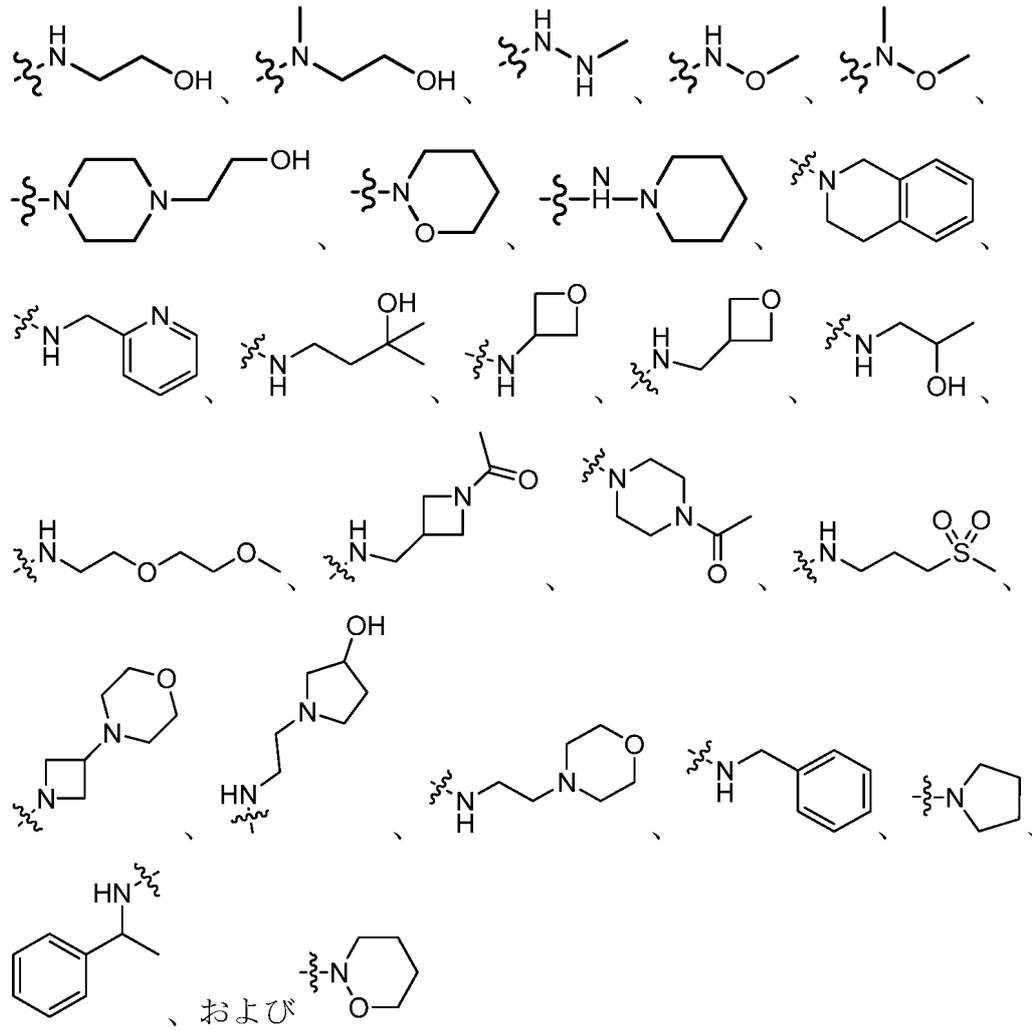


からなる群より選択される、請求項1に記載の化合物。

【請求項4】

前記 -X R<sup>1</sup> は、

## 【化5】

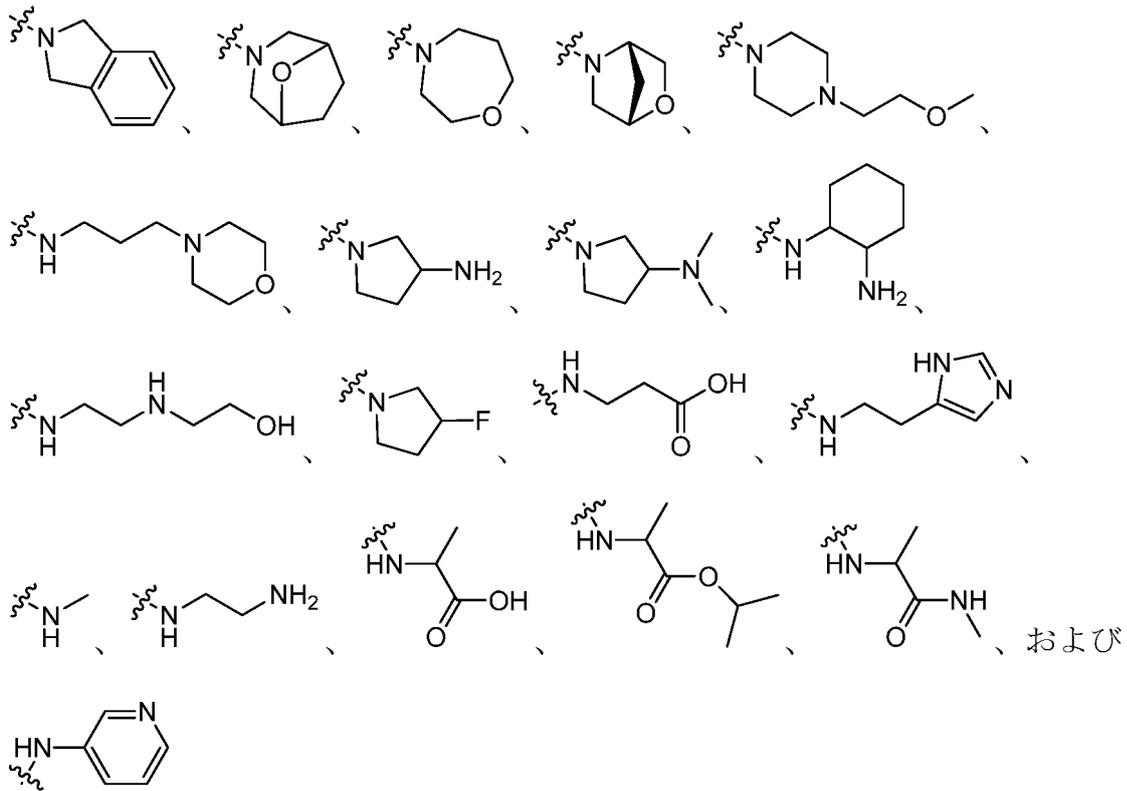


からなる群より選択される、請求項1に記載の化合物。

## 【請求項5】

前記 - X R<sup>1</sup> は、

## 【化6】

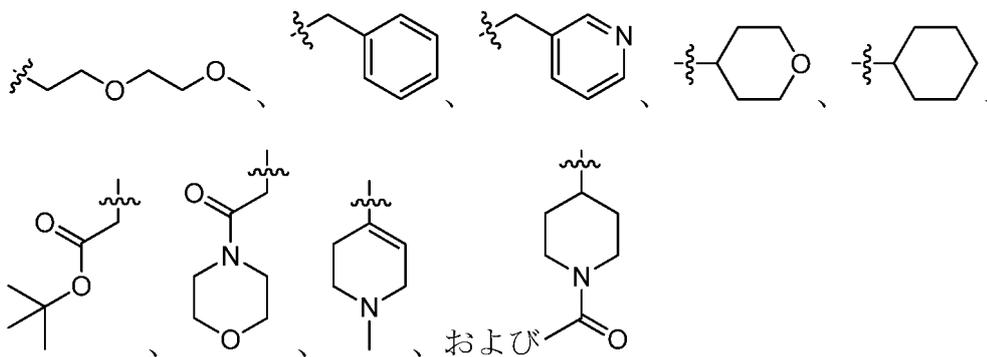


からなる群より選択される、請求項1に記載の化合物。

## 【請求項6】

前記 -XR<sup>1</sup> は、メチル、エチル、プロピル、イソプロピル、プロペニル、

## 【化7】

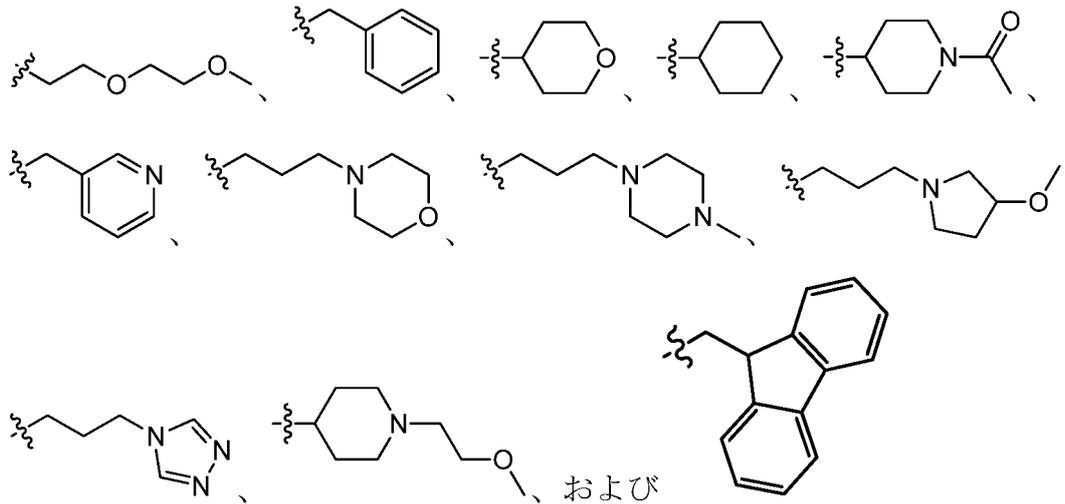


からなる群より選択される、請求項1に記載の化合物。

## 【請求項7】

前記 X は -O- であり、かつ R<sup>1</sup> は、メチル、エチル、プロピル、イソプロピル、プロペニル、

## 【化 8】



からなる群より選択される、請求項 1 に記載の化合物。

## 【請求項 8】

前記 R<sup>2</sup> は水素である、請求項 1 に記載の化合物。

## 【請求項 9】

前記 R<sup>5</sup> は水素、アルキルまたはハロアルキルである、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の化合物。

## 【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の化合物、および薬学的に許容される担体を含む、真菌感染症を治療するための医薬組成物。

## 【請求項 11】

静脈内投与剤形または経口投与剤形である、請求項 10 に記載の医薬組成物。